

「このノート書いたの誰^{だれ}。」

わたしは、ばあばのおうちで、古いノートを見つけました。びっしりとひらがなが書かれていました。えんぴつのがくつきり付いています。力を入れて練習しているのがすぐに分かりました。

「それは、ヨネおばあちゃんのノートだよ。ばあばの宝物なの。」

ヨネおばあちゃんは、わたしのひいおばあちゃんです。つまり、ばあばのお母さんということになります。どうして宝物なのだろうとわたしは思いました。すると、ばあばは、ヨネおばあちゃんがどうしてひらがなを練習していたのか教えてくれました。

ヨネおばあちゃんは、小さいころ、家がまずしくて学校に行けなかったそうです。近所のお友達は教科書を買ってもらえましたが、ヨネおばあちゃんは8人きょうだいの一番上で、がまんしなければならぬことが多かったそうです。下の子の子守もあり、学校に行く時間もありませんでした。お父さんとお母さんは朝から晩まで働いていたので、少しでも力になりたいくて、勉強したかったけど、あきらめたそうです。

ヨネおばあちゃんが60歳^{さい}になったころ、公民館で識字学級^{しきじがっきゅう}が始まったそうです。

「識字学級」というのは、差別^{さい}や貧困^{ひんこん}で、学校に行きたくても行けずに文字を学べなかった人たちが、字を学びに行く教室です。昼間は働いて、週に2回、夜に勉強しに行っていたそうです。

ヨネおばあちゃんは、「ひらがなを書いたり、読んだりできるようになると、毎日が楽しい。」って言って、家でもひらがなの練習をしていたそうです。

「どんなにつかれた日でも、えんぴつのしんがおれるぐらい力を入れて練習していたよ。ヨネおばあちゃんの姿を思い出すと、ばあばは元気がわいてくるんだよ。」

ばあばは、ノートを大事そうにめくりながら言いました。

わたしは、とてもうれしい気持ちになりました。ヨネおばあちゃんは、わたしが1年生の時になくなりましたが、今でも、家族みんなヨネおばあちゃんが大すきです。

「ばあば、わたしも、何だか元気がわいてきたよ。」

わたしは、ばあばに向かってガッツポーズをしました。

日本には、差別や貧困等により、学校に行きたくても行けなくて文字を学べなかった人たちがいます。文字の読み書きができないことで、安定した仕事につくことなどが保障されてきませんでした。このような実態を受け、「差別によってうばわれた文字を取りもどす」ために、全国各地で文字を学ぶ運動が展開されました。この運動の成果で、昭和38年(1963年)、初めて福岡県に識字学級が開設され、やがて鹿児島県など全国に広がっていきました。

※授業者用補助資料

識字学級の歩み

識字って、どんな意味があるの？

新聞、雑誌、広告、看板、標識、値札など、私たちの身の回りには文字があふれています。そして、私たちは、その文字を読むことを通して、様々な情報や知識を得ています。また、文字を使って、自分の気持ちや考えなどの伝えたいことを発信しています。

ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）では、「日常生活で用いられる簡単で短い文章を理解して、読み書きできること」を「識字」としています。

「電車やバスに乗る時に行き先が分からない。病院や役場へ行っても住所と名前を書くことができない。買い物に行っても商品の成分が分からない。運転免許をとりたくても、問題の意味が分からない。選挙に行きたくても字を書くことができないため、投票をあきらめる。」など、文字の読み書きができないことは、人間として必要な最低限の文化的な生活を奪われることとなります。

なぜ、識字学級ができたの？

日本では、差別や貧困によって、小さいときから子守をしたり家業を手伝ったりするなど、学校に行きたくても学ぶ機会を奪われて文字を学べなかった人たちがいます。社会生活を営む上で大切な、教育を受ける権利や安定した仕事に就くことなどが保障されてこなかったのです。このような実態から、差別によって奪われた文字を取りもどすために文字を学ぶ運動が各地で展開されて、昭和 38 年（1963 年）、福岡県で、日本で初めて識字学級が開設され、全国に広まっていきました。鹿児島県でも、1970年代後半から、各地で識字学級が開設されていきました。

識字学級は今どうなっているの？

識字学級生の高齢化や、日本の国際化が進む中で、識字学級は様々な人たちの学びの場へと変わってきています。戦争や差別、貧困などの理由で教育を受ける機会を奪われた人たちだけでなく、外国から日本に来た人たちが、識字学級（識字教室）で文字や言葉を学び、様々な力を獲得しながら、周囲の人々や社会とのつながりを深め、多文化共生の場になっているところもあります。

識字は、単に文字や言葉を習得するだけの取組ではなく、人として豊かに生きていく力を取りもどすことにもつながるのです。識字学級で学び、自分の人生を豊かに広げようとするその前向きな姿勢やたくましさから、私たちは多くのことを学ぶことができます。

※授業者用補助資料

SDGsゴール4について

※ 既習事項の中で SDGs を取り上げることもできる。



- 2030年までに、男の子も女の子も全ての子どもが、しっかり学ぶことのできる、公平で質の高い教育を無料で受け、小学校と中学校を卒業できるようにする。
- 2030年までに、全ての人々が、男女の区別なく、無理なくはらえる金額で、技術や職業に関する教育や、大学をふくめた高等教育を受けられるようにする。
- 2030年までに、はたらきがいのある人間らしい仕事についたり、新しく会社をおこしたりできるように、仕事をするために必要な技術や能力をそなえた若者やおとなをたくさん増やす。
- 2030年までに、教育のなかでの男女の差別をなくす。障がいがあったり、先住民族だったり、特にきびしい暮らしをしている子どもでも、あらゆる教育や、職業訓練を受けることができるようにする。
- 2030年までに、持続可能な社会をつくるための教育や、持続可能な生活のしかた、人権や男女の平等、平和や暴力を使わないこと、世界市民としての意識、さまざまな文化があることなどを理解できる教育をすすめる。

参照： 公益財団法人 日本ユニセフ協会



本時の内容に関する法律等について

【「日本国憲法」 第26条（教育を受ける権利、義務教育の無償）】

すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。

2 すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする。

【「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」】 ※日本ユニセフ協会抄訳



第28条（教育を受ける権利）

子どもは教育を受ける権利をもっています。国は、すべての子どもが小学校に行けるようにしなければなりません。さらに上の学校に進みたいときには、みんなにそのチャンスが与えられなければなりません。学校のきまりは、子どもの尊厳が守られるという考え方からはずれるものであってはなりません。

第29条（教育の目的）】

教育は、子どもが自分のもっている能力を最大限にのばし、人権や平和、環境をまもることなどを学ぶためのものです。

【「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律（教育機会確保法）」

この法律は、学校以外の場所で行う多様な学習活動の重要性について書かれており、不登校の子どもたちに対する支援や夜間中学における就学の機会の提供等を規定している法律です。



※ 文部科学省リーフレットから

教科書の値段について

【令和8年度使用教科書の定価の最高額（令和8年1月29日 文部科学省）】

教科	種目	定価の最高額(単位 円)					
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
国語	国語	808	931	931	745	745	745
	書写	179	179	179	179	179	179
社会	社会			777	777	745	808
	地図			528			
算数	算数	366	745	869	688	745	745
理科	理科			715	988	1,092	1,092
生活	生活	1,990					
音楽	音楽	246	246	246	246	246	246
図画工作	図画工作	488		488		488	
家庭	家庭					314	
体育	保健			239		239	
外国語	英語					380	380
特別の教科道徳	道徳	347	378	417	436	459	477
合計		4,424	2,479	5,389	4,059	5,632	4,672

※ 生活科は第1学年で合計、地図は第3学年で合計、図画工作は、第1学年、第3学年、第5学年で合計、保健は第3学年、第5学年で合計、家庭は第5学年で合計している。

全ての学年を合計すると、26,655円となる。



令和7年度 全国の児童数

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	合計
897,428	933,705	962,258	997,040	1,005,941	1,016,003	5,812,375

令和7年度 鹿児島県の児童数

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	合計
12,461	13,135	13,517	14,013	14,194	14,258	81,758

令和7年度の児童数で計算した教科書の購入金額（全国）			令和7年度の児童数で計算した教科書の購入金額（鹿児島県）		
学年	児童数合計（人）	教科書の購入金額（円）	学年	児童数合計（人）	教科書の購入金額（円）
第1学年	897,428	3,970,221,472	第1学年	12,461	55,127,464
第2学年	933,705	2,314,654,695	第2学年	13,135	32,561,665
第3学年	962,258	5,185,608,362	第3学年	13,517	72,843,113
第4学年	997,040	4,046,985,360	第4学年	14,013	56,878,767
第5学年	1,005,941	5,665,459,712	第5学年	14,194	79,940,608
第6学年	1,016,003	4,746,766,016	第6学年	14,258	66,613,376
合計	5,812,375	25,929,695,617	合計	81,578	363,964,993